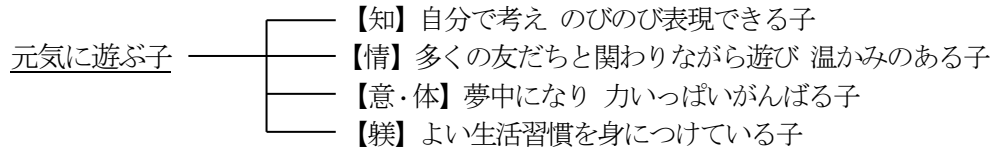


# 平成 29 年度の教育活動等に対する学校評価書

平成 30 年 5 月 11 日  
 学校法人島田中央学園 みどり認定こども園  
 園 長 今村はる代  
 学校関係者評価委員長 高橋 剛男

## 1 幼稚園の教育目標



「元気に遊ぶ」ことを通して

- ・身体、運動能力の基礎基本を培う
- ・目標をもって、それに向かってがんばる力を育成する。(強い心、乗り越える力)
- ・友だちとの関わり方を育てる。(なかよく遊ぶ、力を合わせる)

## 2 本年度の重点目標 (学校評価の具体的な目標・項目)

【明日が待たれるこども園】に向けて

- (1) 教育目標『元気に遊ぶ子』を踏まえ計画的に教育活動を展開している。
- (2) こども園の行事は年齢に応じた、温かな体験を計画している。
- (3) 子どもの興味、関心に基づく遊びや活動を工夫している。
- (4) 保育環境(園庭、遊具、施設等)は園児が安心して心地よく過ごすものになっている。
- (5) 保育教諭は乳幼児理解の為、保護者連絡をとっている。
- (6) こども園は「子育て情報」を発信し、一人ひとりの良さを認めている。
- (7) 計画的に避難訓練、安全点検を行い園児の安全管理に努めている。
- (8) 環境衛生面の維持や、園児の体調管理に努め、定期的な健康診断、身体測定を行い健康に配慮している。
- (9) 自分の言葉で表現できる場を学年ごとに位置付け、子ども同士で考えあう場や表現する意欲を発揮できる環境を整えている。
- (10) こども園は子どもたちに【明日が待たれるこども園】となっていますか。

## 3 自己評価とそれに対する学校関係者評価結果

評価項目		自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	幼稚園としての反省と改善策	評価点	意見
1	教育目標『元気に遊ぶ子』を踏まえ計画的に教育活動を展開している	A	保護者、保育教諭共 5 点、4 点評価の合計から見ると高い評価でした。一年の活動を年、月、週計画で見直し、子どもたちにとっての活動計画はどうか?という見直しをしてきました。「遊ぶ」という時間をしっかり捉えていきます。	A	教育目標「元気に遊ぶ子」を計画的に組み入れたことが保護者にご理解いただいたのではないのでしょうか。園の教育理念です。いつも柱にして教育活動に心がけて下さい。
2	こども園の行事は年齢に応じた、温かな体験を計画している	A	0歳から5歳の子どもの保育教育計画については発達ということをしっかり掴んでいる。年齢に応じた行事を年間で示し、生活体験が豊かになるように細かな計画をしている。保護者、保育教諭共、『計画し進めている』と高い評価をしていただきました。	A	年度はじめに、年間行事計画を保護者に示したことが保護者の安心に繋がっていると考える。年齢に応じたねらいなどを大切にしているのがわかる。こども園で行う行事が子どもたちの生活を豊かにしていく体験につながってほしい。「職員全体で育てている」と全体制で温かく見守ることができているのは素晴らしいです。
3	子どもの興味、関心に基づく遊びや活動を工夫している	A	「遊ぶ」という活動は幼児期には欠かせない生活全体を示します。子どもたちの生活を見るとどこからどこまでという遊びの決まりはつけられないでいます。集団活動であっても、一人ひとりの興味や関心はどんな言葉かけや配慮が必要か理解してもらうように指導計画を大切にしています。活動の予測をしながら、教材や活動内容を工夫していくことの積み上げにさらに努力したい。	A	子どもたちが毎日園生活を楽しみに待っている。また、楽しく園生活を過ごしている。「こどもを真ん中で」という保育になっていると思う。  子どもの興味を探り、どんな方向に展開していくのか予測を立てながら楽しむ計画が必要だと思います。忙しい生活の中でひとり一人に目を向けることは大変ですが工夫を見守り活動に繋げて下さい。

4	保育環境（園庭、遊具、施設等）は園児が安心して心地よく過ごすものになっている	B	もう少し何とかすべきだ！という保護者評価がなかったことを考えると“すぐ改善は無理だ。だんだん手がはいっていくだろう！”と温かく考えていただき、応援してくれた結果だと思う。子どもたちの安心、安全という環境づくりにさらに努力したい。	B	ある環境で知恵を出し合いあってほしい。園内環境は日々安心、安全の確認の取り組みの継続です。子どもたちがどんなふうに環境を楽しんでいるか、様子をよく見てさらに考えを出し合うことができるか検討してください。
5	保育教諭は乳児理解の為、保護者と連絡をとっている	A	乳幼児理解を深めるために研修に参加し保護者連携を深めている。ひとり一人の心をくみ取る保育記録(エピソード)を保育教諭で共有しあいエピソードとしてしっかり掴みとれるように努力している。又年2回の面談などを通して保護者と連絡を取りあっている。	A	子どもの育ちを共通理解していく方法はとにかく連絡を取り合うことだと思う。「うちの子」についてじっくり話ができるのは親の心まで満たしてくれると思う。喜びを家庭と共有してほしい。
6	こども園は「子育て情報」を発信し、一人ひとりの良さを認めている	B	「地域回覧」「園だより」や「学年・学級だより」で情報を伝え、共に子育てを考えるようにしている。こども園のねらいを保護者にきちんと伝え、「子育て情報」としてもっと発信していくよう努力したい。	B	こども園の子育て情報で保護者は学んでいることが多い。たよりを出すことで情報を共有しあうことが出来ると家庭と繋がっていくと思います。家庭教育についてじっくり考えるいい機会になっていると捉えてほしい。
7	計画的に避難訓練、安全点検を行い園児の安全管理に努めている	A	計画的に避難訓練を行うことができた。予期せぬ災害も予想されます。訓練をやった時点で反省をし、保育教諭間でどのように改善していこうかを話し合い決定事項は周知に心がけている。	A	保育教諭、保護者とも評価が高いことに安心しました。訓練をかさね、意識づけしていくことが大切です。さらに安全管理に努めてほしいと思います。
8	環境衛生面の維持や園児の体調管理に努め、定期的な健康診断、身体測定を行い健康に配慮している	A	子どもと過ごす場として基本的な項目ですので、保護者も保育教諭も指導の全面に位置付けているので評価も高かった。時期によっては流行性の感染症などが発症します。こども園としての対応が求められています。さらに衛生管理には配慮をしていきます。	A	健康面、衛生面への配慮も積極的に取り組んでいることが保護者にも評価されているのが良いと思う。集団生活をする場なので大切な配慮になると思う。
9	自分の言葉で表現できる場を学年ごとに位置付け、子ども同士で考えあう場や表現する意欲を発揮できる環境を整えている。	B	表現できる機会を発達に沿って整え考えている。クラス活動の中で、みんなの前で発表したり、当番活動や、お手伝いなどを通して、自己表現がのびのび出来るようになる機会を大切にしている。ご家庭でも子どもの話にまず耳を傾け、ゆっくりかかわりを持つように対応をお願いしている。	A	保育教諭がゆとりを持ち子どもに接することで、『表現』活動も豊かになり、言葉で伝えあう表現ができるようになるのではないだろうか。
10	子どもたちに【明日が待たれるこども園】となっているか	A	これを「求めるこども園像」と考えています。保護者評価は高く、子どもたちに明日の活動を心待ちにする言葉かけを大切にしながら登園させていることは本当に嬉しいことです。教育目標と深くかかわる項目でもありますので、子どもたちとの生活を大切に重ねていきたい。	A	年齢差がある子どもたちが生活している場です。自然に縦割り活動が生まれかかわりあっているという環境でいることが素晴らしいと、保護者も評価しています。こども園を信頼して親も変わっていく・・・信頼関係が増していけるよう努力が必要です。

NO	質 問 事 項	評価点
1	教育目標「元気に遊ぶ子」を踏まえ計画的に教育活動を展開している。	
2	こども園の行事は年齢に応じた、温かな体験を計画している。	
3	子どもの興味、関心に基づく遊びや活動を工夫している。	
4	保育環境（園庭、遊具、施設等）は園児が安心して心地よく過ごすものになっている。	
5	保育教諭は乳幼児理解の為保護者と連絡をとっている。	
6	こども園は「子育て情報」を発信し、一人ひとりの良さを認めている。	
7	計画的に避難訓練、安全点検を行い園児の安全管理に努めている。	
8	環境衛生面の維持や、園児の体調管理に努めたり定期的な健康診断、身体測定を行い健康に配慮している。	
9	自分の言葉で表現できる場を学年ごとに位置付けたり、子ども同士で考えあう場や表現する意欲を発揮できる環境を整えている。	
10	こども園は、子どもたちに【明日が待たれるこども園】となっている。	

評価点：はいそう思う（5） だいたいあてはまると思う（4） どちらとも言えない（3）

あまり当てはまらない（2） いいえ、そう思わない（1）

集計結果） 保護者 147 名・保育教諭 15 名

NO	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点
1	<8 人> 53% <b>(108 人) 73%</b>	<7 人> 47% <b>(35 人) 24%</b>	<b>(2 人) 1%</b>	<b>(1 人) 1%</b>	<b>(無回答 1)</b>
2	<8 人> 53% <b>(105 人) 71%</b>	<7 人> 47% <b>(39 人) 27%</b>	<b>(2 人) 1%</b>	<b>(1 人) 1%</b>	
3	<3 人> 20% <b>(105 人) 71%</b>	<12 人> 80% <b>(37 人) 25%</b>	<b>(4 人) 4%</b>		
4	<1 人> 7% <b>(74 人) 50%</b>	<12 人> 80% <b>(58 人) 39%</b>	<2 人> 13% <b>(13 人) 9%</b>	<b>(1 人) 2%</b>	
5	<6 人> 40% <b>(102 人) 69%</b>	<8 人> 53% <b>(39 人) 27%</b>	<1 人> 7% <b>(4 人) 3%</b>		<b>(無回答 1)</b>
6	<6 人> 40% <b>(76 人) 52%</b>	<9 人> 60% <b>(59 人) 40%</b>	<b>(10 人) 8%</b>		
7	<14 人> 93% <b>(111 人) 76%</b>	<1 人> 7% <b>(32 人) 22%</b>	<b>(4 人) 2%</b>		
8	<15 人> 100% <b>(105 人) 71%</b>	<b>(40 人) 28%</b>	<b>(2 人) 1%</b>		
9	<8 人> 53% <b>(87 人) 59%</b>	<7 人> 47% <b>(55 人) 37%</b>	<b>(5 人) 4%</b>		
10	<9 人> 60% <b>(100 人) 68%</b>	<6 人> 40% <b>(37 人) 25%</b>	<b>(9 人) 7%</b>		

各評価点：上段は保育教諭 下段は保護者の集計